



## 市民活動突撃レポート！

一般社団法人仙台eスポーツ協会 共同代表理事 高谷 将宏さん

### 誰もが一緒に楽しめる「eスポーツ」でまちを盛り上げる

「eスポーツ」とは、エレクトロニック・スポーツの略で、ビデオゲームを使った競技をスポーツとして捉える際の名称です。使用されるビデオゲームの種類は、パズル、格闘、サッカー、野球、シューティングなど様々です。一般社団法人仙台eスポーツ協会は、県内で多くの人にeスポーツの魅力を知ってもらうための体験会や大会を開催しています。eスポーツの魅力の一つは、障がいの有無、年齢、性別に関わらず、誰もが同じフィールドでプレイできることです。海外では大会による経済効果も生まれています。共同代表理事の高谷将宏さんは、「eスポーツの可能性を模索し、地域の企業や教育機関と共にイベント・製品開発に取り組むことで、県内に新たな市場をつくりたい」と話します。

2020年10・11月には、障がい者を対象としたeスポーツの体験教室を実施。自閉症や肢体不自由の人など約15名が参加しました。ゲームは得意なもの、いつも家で一人プレイしていたという人から

「みんなで一緒にできることや、自分を見てもらえることがうれしい」との声がありました。

右手に麻痺がある人は、はじめはうまく操作ができませんでしたが、コントローラー設定を変えることで楽しめるように。高谷さんは「eスポーツは、ゲーム自体の楽しさはもちろん、人とのコミュニケーションを得られたり、達成感を感じられたりするツールでもある。学習障がい者の勉強をサポートするためのソフト開発など、より研究が進むよう盛り上げたい」と語ります。



写真提供：仙台デザイン&テクノロジー専門学校

一般社団法人 仙台eスポーツ協会

HP: <https://stutteringnet-tohoku.jimdosite.com/>



## 活動現場から、「このたびカタチになりました」

### マンガで読む家族の対応 もしあなたの大切な人が薬物を使ったら…

薬物依存症への理解を広げようと、NPO法人全国薬物依存症者家族会連合会がマンガ冊子を発行しました。薬物依存に悩む子どもとその家族の心情を細かく描きながら、問題解決への糸口を示してくれます。全国の家族会の連絡先も掲載。仙台の家族会は「誰にも言えずに悩んでいる方は、安心して相談してほしい。秘密厳守で通報されることはありません」と呼び掛けています。

●マンガ冊子はサポセン館内で配布の他、団体ホームページからダウンロード

も可能

●仙台家族会

TEL:080-9635-6415



## サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

### クジラのおなかからプラスチック

今、クジラがプラスチックの袋をたくさん飲み込んで死んでしまうという事態が起きているほど、プラスチックによる海洋汚染が広がっています。サイエンスライターによって著された本書では、プラスチックとはいったいなんなのか、どう環境問題を引き起こしているかを詳しく解説しています。子ども向けの語り口調、挿絵や図表を多用しながらプラスチック汚染の全貌を明らかにしその深刻さに気付かされる、大人が読んでも有益な内容です。

著者：保坂 直紀  
発行所：旬報社



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。

「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月13日(水)27日(水)  
年末年始の休館日 12月29日(火)～1月3日(日)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00  
日曜日・祝日 9:00-18:00  
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

[ツイッター] @SCSC4CA

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。  
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター  
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年1月4日

デザイン PEACE Inc.

### 「ばれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しています。引き続きご愛読よろしく申し上げます。